学校番号	404

平成31年度　　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「新詳世界史B」（帝国書院）						
副教材等	「最新世界史図説　タペストリー十五訂版」（帝国書院）						

1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義形式の授業を中心としながら、必要に応じて課題学習、アクティブラーニング等を実施し、知識の定着を図る。また、プロジェクターを使用して様々な資料や映像、画像を提示することで思考力を高めていきたいと思う。また長期休暇には課題を与えて定期考査以外の評価の参考としたいと思う。
＊昨年度から継続履修

2. 学習の到達目標

世界史の流れを、我が国の歴史に関連させて理解させるとともに、世界の文化の多様性や広がりを広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究する。	世界史の歴史から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その課程や結果を適切の表現している。	世界史についての様々な資料を活用し、世界史を歴史的、空間的に考察して、その内容を表現する。	世界史の大きな流れを日本の歴史に関連させて理解する。
評価方法	授業中の発問への答え 課題の提出・内容 ノート及び授業メモの記入 発表・発言内容	定期考査 発問への答え 課題の内容 発表・発言内容	定期考査 課題の内容 授業中の発問への答え	授業中の発問への答え 課題の提出・内容 ノート及び授業メモの記入 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	大規模な分業体制の成立	大航海時代 ルネサンスと宗教改革 スペインの盛衰とオランダの覇権	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a：ヨーロッパの拡大と大西洋世界に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b：ヨーロッパの拡大と大西洋世界について多面的・多角的に考察している。 c：ヨーロッパの拡大と大西洋世界に関する諸資料を読み取ることができる。 d：ヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解し、その知識を身につけている。	授業中の発問への答え 課題の提出・内容 ノート及び授業メモの記入 発表・発言内容 定期考査
	西ヨーロッパの覇権争いと世界的な分業体制の拡大	広がる主権国家体制と17世紀の危惧 プロイセン・オーストリア・ロシアの台頭 イギリス・フランスの覇権争い	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a：ヨーロッパの拡大と大西洋世界に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b：ヨーロッパの拡大と大西洋世界について多面的・多角的に考察している。 c：ヨーロッパの拡大と大西洋世界に関する諸資料を読み取ることができる。 d：ヨーロッパ世界の特質と他地域との関係を理解し、その知識を身につけている。	
2学期	環大西洋革命	アメリカの独立 フランス革命	○ ○	○ ○		○ ○	a：環大西洋革命に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b環大西洋革命について多面的・多角的に考察している。 c：環大西洋革命に関する諸資料を読み取ることができる。 d環大西洋革命を理解し、その知識を身につけている。	授業中の発問への答え 課題の提出・内容 ノート及び授業メモの記入 発表・発言内容 定期考査
	イギリスの覇権と欧米の国民国家建設	イギリスの覇権と自由主義 ヨーロッパに広がる国民国家 アメリカ合衆国の拡大と国家統合	○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a：国民国家の形成に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b国民国家の形成について多面的・多角的に考察している。 c：国民国家の形成に関する諸資料を読み取ることができる。 d国民国家の形成を理解し、その知識を身につけている。	

3 学 期	アジア諸地域の栄華と成熟 世界の一体化の進展とアジアの変容	明の国際秩序と東・東南アジア 世界帝国清とアジア諸国の成熟 イスラーム諸国の変容と模索 南アジア・東南アジアの植民地化と社会変容 東アジア諸国の模索と変容	○	○	○	○ ○	a：アジア諸地域の反映に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b：アジア諸地域の繁栄について多面的・多角的に考察している。 cアジア諸地域に関する諸資料を読み取ることができる。 d：アジア諸地域の特質とその中での日本の位置づけを理解し、その知識を身につけている。	授業中の発問への答え 課題の提出・内容 ノート及び授業メモの記入 発表・発言内容 定期考査

※ 表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現

c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。